

# 和寒町農民連盟との意見交換会 結果報告書

団体名：和寒町農民連盟	開催日時：令和7年2月25日（火） 15時00分～17時35分	会場：議場
-------------	---------------------------------	-------

項目	参加者の発言内容	議員発言・事前アンケートの行政回答内容	その後の対応
① 災害時の支援の 継続  樋門管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町政懇談会や議員と話す中で色々言っても全くその答えが出てこない、これからの方向性が全然見えない。</li> <li>・樋門管理で誰が指揮を取りどのような体制で樋門開閉の管理をするのかマニュアル的なものは作れないのか。</li> <li>・一年一作物の農家で水がついてしまうと終わり、スピード感を持って農家の気持ちになり対策を考えてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年、池澤議員が「樋門の鍵は業者だけ持つのではなく、地先の方も持ち複数人で管理して操作時に対処できるのではないか」「マニュアル化が必要では」など一般質問をして、建設課から道の管理担当に話はしていると伺っています。樋門管理の研修会があり進展があれば報告します。</li> <li>・自然災害については、近年本町でも水害で農産物や農地にも影響を与えていることから、災害予算も含め対策を考えていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会では議会報告会などで受けた質問等については、後日報告書や広報誌で回答や対応を周知しており、議員も一般質問で行政へ回答を求めるなど行っています。</li> <li>・本年2月26日に樋門管理研修会が役場で開催され、旭川開発管理部士別出張所所長に対し、複数の管理体制(合鍵作成)や管理マニュアル作成を要望しました。また、14基のポンプを道が直接管理する説明があり、その管理は現在の業者が引き続き行う説明がありポンプ点検等も要望が出ていました。</li> </ul>
ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプをいざ使おうと思った時にポンプが回らない、ホースに穴が空いて使い物にならないとかあり事前に点検してもらいたい。</li> <li>・六線川に流すポンプが常設で置いてあるが、結局間に合わず水がつく。もっと大きいポンプにならないか、工事してもらえないかを何年もお願いしているが何とかならないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「14基のポンプを道が直接管理するモデルとして実施する」と町から説明があり、詳細が分かり次第報告します。</li> <li>・昨年開発局で8インチが10個程付いた大型ポンプ車を試験的に実施するなど町もある程度行動していますが、リース会社への事前点検徹底も含めて議会も継続して要望していきたいと思います。</li> </ul>	
②鳥獣害対策の 拡充強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒグマのパトロールに新たに報酬が設定されたのは安心だが、25万円はどのような計算で出てきたのか。これで足りるのか。</li> <li>・猟銃免許をとる人は中々いないと思うので、猟友会だけに任せるのではなく行政にも考えてもらわないと厳しい。</li> <li>・固定給で募集して、地域のハンターとして鳥獣害にリーダーシップを発揮するような方を早いうちから育てた方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1巡回を3時間とし1時間3,000円の3時間×2人を3日間、年2回で10万8,000円。箱わな設置は1回5万円×3回分で15万、合計25万8,000円の積算計算です。</li> <li>・町民の命に関わる事態は補正予算を組むこともできるので、心配だという意見を受け止め行政と相談しながら取り組んでいきます。</li> <li>・占冠村には猟銃免許所持者が役場職員にいます。何年かすると本町も緊急性の高まってくると思うので、今後の経過を見ながらまた要望していきます。</li> </ul> <p>(産業振興課事前回答)</p> <p>市街地でヒグマ出没があった場合、教育・福祉関連施設・生活安全担当課と連携し、出没状況や被害防止対策など速やかに情報提供を行い、猟友会及び地元警察署と連携し被害防止対策に努めます。</p>	左記のとおり
③カントリーエレベーターの実質利用料の値上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金額がどうしてもどのように上がったのか納得できなかった。</li> <li>・料金を上げる中での説明が不十分だったのではないか。</li> <li>・和寒の財産である以上、農家に還元されているのはあると思うので、議会も頑張ってもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理でJA北ひびきにお願ひし、設置条例の範囲内で収まっている料金ですが、高いと利用しづらい面もあり、令和8年度に指定管理期限も迎えるため皆さんの意見を伺いながら今後議論を深めていきます。</li> </ul>	左記のとおり
④農地中間管理機構事業に係る手数料等の一部見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業委員会事務局で説明文書を作っても難しい言葉が並んでおり、もう少し分かりやすい形で説明会等をやってもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間管理機構は「各市町村の農業委員会にきちんと伝えていきます」とのことでした。職員だけではなく農業委員も話は聞いているようですが「説明が足りないのでは」と話しています。</li> </ul> <p>(農業委員会事前回答)</p> <p>手数料一部見直しは、これまでの手数料に加え令和7年度から農地中間管理機構事業に伴い新たな手数料が発生するのは、事業を進める上ではやむを得ないと感じていますが、多くの負担が増しているのは十分に承知しています。</p>	左記のとおり

項 目	参加者の発言内容	議員発言・事前アンケートの行政回答内容	その後の対応
⑤畑地化した水田の 今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>畑地化した農地は今回輪転があるのか。</li> <li>適正価格は難しく混乱していると思うが、今後も適正価格を維持できるようお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最近あった畑地化後の輪転状況は、水田と畑の間ぐらいか少し低い単価で売買されたのは出てきました。 (農業委員会事前回答)</li> </ul> <p>今後の農地流動化状況を関係機関と連携し対策を検討するとともに場合によっては農地中間管理事業の活用も視野に検討していく必要があると考えています。</p>	左記のとおり
⑥土地改良事業  区画整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>議員に期成会立ち上げ音頭をとってくれませんかと書き回答で触れられていなかったの、何か考えがあればお聞かせください。</li> <li>中山間地で盛土切土が幾ら掛かるか、どれだけ期間が掛かるか、どれだけ集まってやれるかで、今から手を挙げても生きている間に始まらない雰囲気。</li> <li>何年か前にアンケートか説明会かあり始まるのかなと思ったが中々そこから話が進まない。</li> <li>区画整理した人からは良い話を聞くが、年間の負担金が多くことで、持続可能な農業のためには良いと思うがコスト面をクリアできなければ厳しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議員が先頭に立ち期成会を作る話もありましたが、立場もあり非常に難しいのですが、きっかけを作ることは議会の役割でもあると思いますので相談ください。</li> <li>議会では、後世に残す上で区画整理は必要ではないかと同じ意見を持っています。これまでの事業に対して受益者個人負担は、町も負担し受益者負担は減っていますが、資材費・工事費が上がっており、大区画化の説明会等で理解を深めていく必要があると思っています。</li> <li></li> </ul>	左記の通りですが、国の方針から水田活用の見直しがあり、畑地化が進んだ地域は大区画等が予算も含めて施工しにくくなっており、労働不足や作業の効率化、農村地域の振興など勘案すると、必要な事業と考えておりますので、将来を見据えた投資として、行政も一体となって考えていくべきと考えています。
⑦農業予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>米の値段も良く農家の納める税金も増えると思うが、それを多少なりとも還元できないか。機械も値段が上がっており機械補助があれば耕作放棄地の抑制にもなる。もっと広い心で考えてほしい。</li> </ul>	<p>(産業振興課事前回答)</p> <p>令和5年度の農業所得町税額は約4千万円です。令和6年度当初予算の農業振興費は3億2千万円で、そのうち国や道の補助金等を除く一般財源は1億1千万円で、町税額を大きく上回っており町税額以上に還元されると言えます。</p>	今後も農業施策を一般質問などで取り上げていきます。
⑧機械購入の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算が削られるばかりで町は農業を応援したい気持ちが見えない。基幹産業は農業だということを農家に示してもらいたい。お金ではなく寄り添ってもらいたい。</li> <li>町長はよく「重量野菜が減るのは仕方ない」と言うが、作ったこともないのによく言えるなど。大変なのは農家でどう応援していくか考えてもらいたい。</li> <li>農家がこのように言うとうすぐ補助金が欲しいのかとなってしまうのは寂しい。</li> <li>農業後継者やUターンする人が帰って来やすいような、例えば後継者を地域おこし協力隊にすると農家を減らさず人口を増やす形ができるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前に村岡議員が「和寒町としての農業のビジョンは何か」と一般質問し、町長は「総合計画がビジョン」だと答えました。本町は他市町村に比べ農業支援率は高いが、補助の出し方で思いが届いていないのが現状かと思えます。ご意見に沿った内容に近づけるよう要望していきます。</li> <li>新規就農は本町も重点的に取り組んでいる施策ですが、新規就農だけではなく親元就農者も含めた本町の農業における重要性を再認識しながら今後も取り組んでいきたいと思えます。</li> </ul>	村岡議員が3月定例会一般質問で農業予算と関連し質問をしました。町長は、他町との比較で本町は手厚く農業事業を行っている。土地改良整備等は、土地連役員に就いている立場から情報を早期に提供しながら皆さんと一緒に考えていきたい答弁がありました。

項 目	参加者の発言内容	議員発言・事前アンケートの行政回答内容	その後の対応
ふくしのまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実現できれば地域もモデル的な参考にされるものになるのかと思うが本当に実現可能なのか。建設費用を含め黒字化する見通しなのか。経費削減になるのか。</li> <li>・農家のことを言わせてもらえば農家も社会的に見れば弱者。「和寒はお金が厳しい」という中で、どうして福祉だけ湯水のようにお金を使ってそれを納得していくのか。反対意見が出るのは、今までその質問に真摯に答えてこなかった結果ではないか。黒字になると言うなら「こういう要素でこういう部分があるから絶対に3年後には黒字なのだ」とはっきり示せば誰も反対はしない。初めての人を信用してくれと言われても、やはり信用できないのが多くの人の考え。数字と計画を早く皆に知らせたら良いのではないか。</li> <li>・透明性が無いから憶測も生まれるし、社協がやらないから誰がやるのだから反対や質問した人の前で果たして言えるのか。あれもしたいこれもしたいで固まっていないから、ふわふわして皆が不安に思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養施設の老朽化で平成27年から議会も議論を行い、行政側は建て替えも含めた運営を民間、町社会福祉協議会にも断られ、社会福祉法人ゆうゆうは本年4月から指定管理者として運営します。新たな施設運営の収支損失分は8年間支援しますが、特養以外の色々な事業も行い令和10年には黒字化にしていくシミュレーションの説明を受けています。</li> <li>・健全経営の福祉法人ゆうゆうであり、福祉、障害等の事業先進的なノウハウも持ち備えており、本町の福祉施設・事業をお願いすることとなりました。また、ゆうゆうがふくしのまちづくり事業を受託したのは確固たるものがあり、国でも民設民営として専門的なノウハウ生かし運営することは許され、行政が補助するのも認められており、本町も財政負担を減らしていくのを目指しています。少なくとも指定管理料1億5000万円が毎年掛かりません。ゆうゆうは事業をプラスにして経営できるものがあるから事業継承を受けたと思っています。</li> </ul>	<p>池澤議員が3月定例会一般質問で町民への説明不足について質問し、改めてふくしのまちづくり住民報告会を開催する回答があり、3月26日、27日に計4回の報告会が開催され、これまでの経過や基本設計・財政シミュレーション・今後の建設スケジュールなどの説明がありました。</p> <p>議会は3月24日公民館で午後と夜の2回議会報告会を開催し、ふくしのまちづくりについて参加者から多くの意見が出されました。その内容は一部抜粋して議会だより5月号(119号)でお知らせします。</p> <p>また、参加者からの意見は議会で協議し対応策検討を行政側に提言書として提出しました。</p>